

事業評価シート

事務事業名	確かな学力定着事業	担当課名	学務課
総合計画の 主要施策名	「確かな学力」を身に付けた 子どもの育成	班 名	学務班
		事業コード	4221

事業の目的	「確かな学力」を育成し、個性と創造力豊かな児童生徒を育成する。			
事業の内容	基礎学力の定着度調査、学習を計画的に進めるための客観的資料となる検査、生活支援を要する子どもへの支援員配置、複式授業解消のための講師配置。			
事業の対象	町内小中学校児童生徒			
事業コスト	区 分	H18決算	H19決算	H20予算
	事業費 (千円)	1,230	1,723	1,106
	うち一般財源等 (千円)	1,230	1,723	1,106
	人件費 (千円)	24,234	24,426	27,651
総コスト +		25,464	26,149	28,757

事業実績・成果 (指標)	名 称	単位	H18年度実績	H19年度実績	H20年度(予定)
	生活支援員配置人数	人	12	13	14
	複式授業解消講師人数	人	2	2	1
	学力検査・知能検査料	千円	1,168	1,674	1,044

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
総合評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	町民の学力向上への期待は非常に大きい。特別な支援、個別的な学習や学校生活の支援が必要な子どもが各学校に在籍しており、個に応じた指導を行うなど、今後も積極的に事業を展開していきたい。なお、20年度は全国学力・学習状況調査と秋田県学習状況調査の対象外となっている小学校1～3年生に学力検査を実施することとした。			
事業の 方向性	さらに重点化する 現状のまま継続する 見直しのうえ継続する 事業の縮小を検討する 休止、廃止を検討する	評価委員意見	部局評価のとおり。	